

THE NEW VALUE FRONTIER



取扱説明書 手動圧着工具

純正圧着工具を使用した適正な圧着作業および品質管理基準を以下に示します。

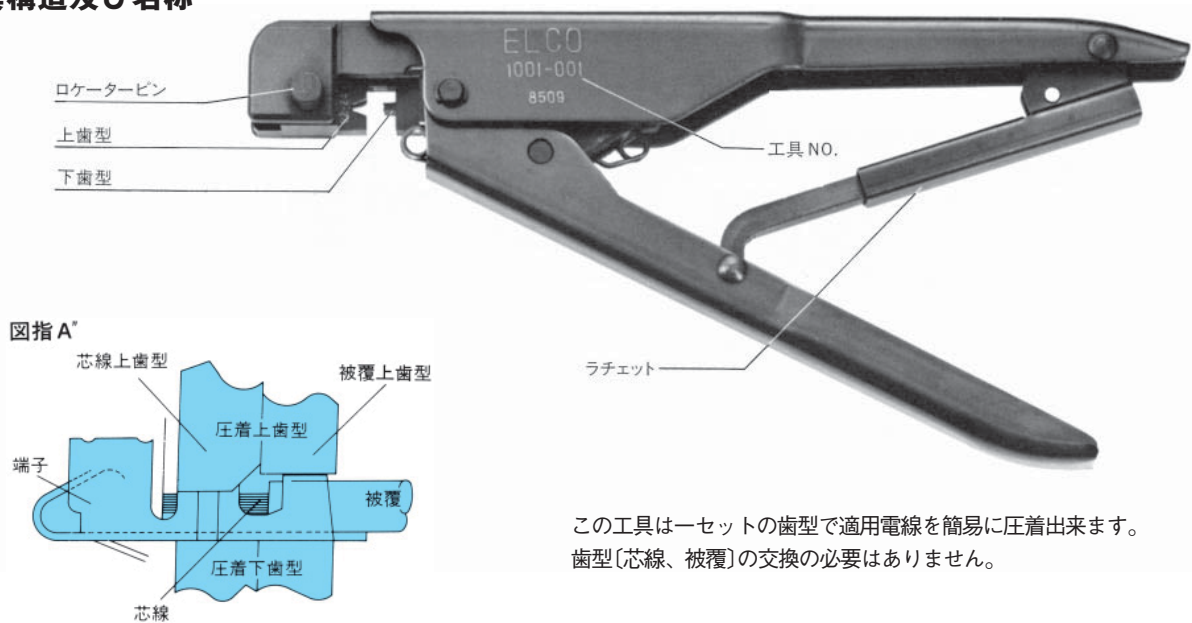
この手動工具の適用範囲と製品規格とは必ず一致するとは限りませんので、ご使用に際してはご相談ください。



手動圧着工具

Aタイプ

工具構造及び名称



この工具は一セットの歯型で適用電線を簡易に圧着出来ます。歯型〔芯線、被覆〕の交換の必要はありません。

不良事例

不良項目	事例	原因
① 圧着部形状不良 (ワイヤーバレル部)	引張強度規格不良	規定外電線サイズの使用又は工具の摩耗
② 端子変形 ① 曲り ② ねじれ ③ バレル変形		歯型に対し端子が中心にセットされていない
③ クリンプ高さのバラツキ	工具クリンプ位置が一定でない場合	ラチェットの摩耗及び変形により、ハンドルを完全に締付けない位置(中間位置)、でも復帰する状態となっている場合に起きる

圧着適用上歯型の選定

- ① 上歯型には上部下部共に必要歯型が付いています。
- ② 上歯型の組合せ方向は必ず角面取り方向で組み合わせて下さい。
- ③ 圧着する電線サイズによって上歯型を選定して下さい。
- ④ 上歯型には適用電線サイズのNo.が刻印されています。
- ⑤ 上歯型の選定についてはロケータピンを抜いて行って下さい。
(ロケータピンは素手で簡単に抜けます)
- ⑥ 上歯型をセットしロケータピンで固定してください。

作業手順

- ① 工具No.と電線サイズが一致しているかを確認して下さい。
- ② ハンドルをいっぱいを開いて下さい。
- ③ 端子を図指A'の通り正しい位置にセットして下さい。
(注) (刻印表示側が端子の被覆圧着側です。)
- ④ ストリップした電線を図指A'の通り正しく差し込んで下さい。
- ⑤ ハンドルをラチェットのはずれる位置まで十分に閉じて下さい。
- ⑥ ハンドルを開き端子を取り出して下さい。
- ⑦ 圧着した端子は不良がないか確認して下さい。